

2016（平成28）年度

# 事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

静岡県磐田市新貝2500番地

## 目 次

### 【事業報告】

I. 事業の概況	3
II. 事業別の状況	
<スポーツチャレンジ助成事業>	
1. スポーツチャレンジ研究助成・スポーツチャレンジ体験助成 (公1) 助成金事業	4
2. 海外留学生奨学金・外国人留学生奨学金給与 (公2) 奨学金事業	7
3. スポーツ討論会の開催 (公1) 助成金事業	8
<スポーツ振興支援事業>	
1. 全国児童 水辺の風景画コンテスト (公4) 青少年健全育成事業	9
2. ジュニアヨットスクール葉山の運営 (公4) 青少年健全育成事業	11
3. セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の開催 (公6) 調査研究・教材製作・競技会等運営事業	13
4. スポーツ教材の提供 (公5) 普及・振興事業	14
<スポーツ文化・啓発事業>	
1. スポーツチャレンジ賞 表彰 (公3) 表彰事業	16
2. 調査研究への取り組み (公6) 調査研究・教材製作・競技会等運営事業	19
3. ホームページ運営と刊行物の発行 (公7) 普及広報事業	22

### 【事務報告】

■平成28年度 理事会、定時評議員会	23
■理事・監事・評議員	24
■事業協力者・関係者	
・ スポーツチャレンジ助成審査委員、スポーツチャレンジ賞選考委員、スポーツ教材抽選者	25
・ 調査研究プロジェクト、全国児童水辺の風景画コンテスト審査員	26
・ ジュニアヨットスクール指導コーチ	27

### 【参 考】

・ 別紙(1) 平成28・29年度(第10・11期)助成対象者	28
・ 別紙(2) 平成28・29年度(第10期)国際スポーツ奨学金対象者	32
・ 別紙(3) 第28回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」入賞者	33
・ 別紙(4) 平成28年度スポーツ教材の提供先団体	35
・ 別紙(5) 第25回「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」参加団体と上位入賞者	39
・ 別紙(6) メディア掲載情報	42

## 【事業報告】

### I. 事業の概況

平成 28 年度は、リオデジャネイロ 2016 オリンピック競技大会において、男子 4×100mリレーでの初の銀メダル獲得をはじめ、卓球、バドミントン、体操など各競技での日本人選手の活躍は、私たちに多くの感動を与えてくれました。そしてその後開催されたパラリンピック競技大会では、世界的にも競技力が高まる中で、前回（ロンドン）を上回る 24 個のメダルを獲得し、当財団の助成対象者（OB 含む）も大きく貢献してくれました。選手自身のチャレンジや弛まぬ努力はもちろんのこと、選手を支える多くの方々のご努力に改めて敬意を表します。また、大会前後での報道機会等の増加により、障害者スポーツに対する社会的認知や関心も次第に高まりを見せるなど、4 年後の東京 2020 大会に向けた環境整備に大きく弾みをつけるものと考えています。

一方、こうしたトップスポーツのみならず、日常における子どもたちの体力・運動能力の向上への取組みも社会的に重要な課題です。スポーツ庁による第 2 期スポーツ基本計画の推進や、学習指導要領の改訂などスポーツ行政や社会の動きを注視しつつ、私たちが事業現場から学んだことや経営資源を活かして、成長期における子どもたちのスポーツ機会や水辺・自然体験など体験機会の充実を支援すべく当財団も微力ながらお役に立ちたいと考えています。

当財団の平成 28 年度は、事業目的の実現に向けた中期事業方針「Next 5」の最終年として、事業の円滑な運営に努め、各事業分野において、概ね予定した成果をあげることができました。

個別事業としてのスポーツチャレンジ助成では、第 10 期助成対象者及び奨学生に対するサポートプログラム（四半期報告、中間報告会、成果報告会、異分野交流など）を審査委員のご協力のもとに運営するとともに、新たな募集にあたり、スポーツ振興に関わる社会的な支援の現状を踏まえつつ、チャレンジャーの成長ステージに沿った助成の充実を図るべく、第 11 期募集から一部制度の改定を行ってきました。

スポーツ振興支援では、ジュニアヨットスクール葉山での対外レースや行事への積極参加。学べるレガッタを特徴とする第 25 回セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の開催。被災地を含む全国小学校等へのスポーツ教材の提供や 3 年目となる静岡県西部（3 市 1 町）をモデルエリアとした指導サポート付きタグラグビー教材の提供を通じて全国約 1 万 3 千名の子どもたちや指導者が参加。子どもたちの自然・水辺体験の啓発を趣旨とした第 28 回全国児童 水辺の風景画コンテストでは、初の 1 万人を超える参加者を得ることができました。

スポーツ文化・啓発では、長年に亘りスポーツ振興に貢献された縁の下の力持ちを讃える第 8 回スポーツチャレンジ賞の表彰と、受賞者の功績への理解促進を目的としたスペシャルコンテンツを当財団ホームページで公開。5 年目となる調査研究では、前年度調査結果の社会発信の場として、シンポジウム「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けて」を開催するとともに、本年度の調査研究活動として、障害者スポーツに関する調査及び、トップスポーツに関する調査を継続し、報告書を発行しました。

また、当財団設立 10 周年の節目に際し、これまでの 10 年間の成果と課題の振り返りや関係者の助言等をもとに、次期中期 5 年間（平成 29 年度から 33 年度まで）で実現したい課題や取り組みの方向性を示した中期事業方針

「Active5」を策定してきました。平成 29 年度は、新たな中期事業方針「Active5」の 1 年目にあたります。

前方針を基本的に継承しつつ、更なる事業の「質」向上と社会的価値の向上を目指し、更に一段上のステージにチャレンジしていきたいと考えています。

民間企業を母体とする公益財団法人として、持続的、安定的な事業推進を念頭に置きつつも、受動的な事業にとどまることなく、常に社会のニーズや課題を踏まえた独自の課題意識を持ち、よりアクティブに社会にアプローチしていきたいと考えています。



## II. 事業別の状況

### <スポーツチャレンジ助成事業>

本事業では世界に羽ばたく逞しい人材の育成をめざし、スポーツ医・科学、スポーツ文化など、スポーツに関連する広い分野から、スポーツの普及・振興や競技水準の向上につながる学術的価値の高い学問・研究活動に対し、また、スポーツを通して夢・目標の実現に向かってチャレンジするアスリート、指導者、審判、ジャーナリストなどスポーツに関する分野から、高い志、明確な目的・目標、そして具体的プロセスを持ったチャレンジスピリット、フロンティアスピリットあふれる体験活動を助成しています。

#### 1. スポーツチャレンジ研究助成・スポーツチャレンジ体験助成 (公1) 助成金事業

平成 28 年度 (第 10 期) は全 31 件、合計金額 26,676,027 円の助成を行いました。

平成 29 年度 (第 11 期) に向け、全 28 件、合計金額 25,980,900 円を採択しました。

また、スポーツチャレンジ助成対象者 (チャレンジャー)、OB・OG、事業関係者の日々の活動報告や交流用サイト「チャレンジャーズ・ネットワーキング・システム」を運営しています。

#### 【平成 28 年度の活動実績】

##### ●平成 28 年度 (第 10 期) 助成事業の概要:助成実績

	今年度/第 10 期	前年度/第 9 期
研究助成	15 件	11 件
体験助成	12 件	13 件
NEXT	4 件	3 件
合計	31 件	27 件



- スポーツチャレンジ助成者に対し、活動サポートやフォローアップを目的に以下のプログラムを実施しました。

- ・ 活動報告書の提出 (四半期毎)
- ・ 中間報告会の開催 (9 月～10 月)
- ・ 成果報告会の開催 (3 月)



- 中間報告会について：

- ・ 9 月から 10 月にかけて中間報告会を開催しました。(全 5 回)

なお、スポーツチャレンジ助成者と国際スポーツ奨学生 (後述) 合同で実施しました。

各チャレンジャーから活動報告を受けるとともに、審査委員からは激励・質疑やアドバイスがありました。

	日程	会場	チャレンジャー	審査委員
第 1 回	9 月 23 日 (金)	東京御茶ノ水 ソラシティー カンファレンスセンター	7 名	6 名
第 2 回	9 月 24 日 (土)		7 名	6 名
第 3 回	10 月 7 日 (金)		7 名	9 名
第 4 回	10 月 14 日 (金)		7 名	9 名
第 5 回	10 月 15 日 (土)		7 名	6 名

※ チャレンジャーは「研究助成」「体験助成」「チャレンジ NEXT」「海外留学生」「外国人留学生」の合算です。

○成果報告会および修了式について：

- ・ 第10回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて開催しました。  
平成29年3月3日（金）～4日（土）大手町ファーストスクエアカンファレンス

※ YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングの概要については後述



第10期生の成果報告会の様子



第11期生と審査委員の皆さん

## 【平成29年度に向けた活動実績】

### ●平成29年度（第11期）助成対象者募集および選考の概要

- ・募集期間：平成28年9月1日（木）～11月15日（火）※体験助成は11月8日（火）締切
- ・募集方法：当財団ホームページおよびニュースリリースなどで告知
- ・募集内容：

#### （1）スポーツチャレンジ研究助成（基本・奨励）

##### ・基本

研究機関等で研究職として活動に従事する、満40歳未満（応募時）の個人および、これによって構成されるグループ・団体。国籍不問。

##### ・奨励

大学院博士後期課程に在籍中または学位未修得者で、満30歳未満（応募時）の個人および、これによって構成されるグループ・団体。国籍不問。

#### （2）スポーツチャレンジ体験助成（アドバンスド、ベーシック、ジュニア）

##### ・アドバンスド

世界選手権など国際レベルでの実績を有する、中学3年生以上（応募時）の個人および、これによって構成されるグループ・団体

##### ・ベーシック

世界選手権など国際レベルを目指す、中学3年生以上（応募時）の個人および、これによって構成されるグループ・団体

##### ・ジュニア

ジュニア世代の国際大会での実績を有する、中学1年生以上（応募時）の個人および、これによって構成されるグループ・団体

○選考方法：

<第1回審査委員会（書類選考）>

審査項目	日程	会場	審査委員
体験助成	12月8日（木）	丸の内マイプラザ	4名
研究助成	12月9日（金）		6名

<第2回審査委員会（面接選考）>

審査項目	日程	会場	審査委員
体験助成	1月19日（木）	丸の内マイプラザ	7名
研究助成	1月20日（金）		8名

○応募状況および選考結果について：

	第11期			第10期		
		応募数	採択数		応募数	採択数
研究	基本	25	10	基本	50	11
	奨励	17	5	継続	6	4
	(計)	42	15	(計)	56	15
体験	アドバンス	19	5	基本	27	8
	ベーシック	31	5	継続	7	4
	ジュニア	5	3	NEXT	6	4
	(計)	55	13	(計)	40	16
	(合計)	97	28	(合計)	96	31

○助成金採択実績の一覧

	第11期	第10期
研究助成	13,945,900円	12,926,500円
体験助成	12,035,000円	13,749,527円
助成額合計	25,980,900円	26,676,027円

○助成金贈呈式について：

第10回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて実施しました。

平成29年3月3日（金）～4日（土）東京大手町ファーストスクエアカンファレンス

※ 別紙（1）平成28・29年度（第10・11期）助成対象者

## 2. 海外留学生奨学金・外国人留学生奨学金 給与事業 (公2) 奨学金事業

スポーツにかかわる学問・研究を目的とした留学生に奨学金を給与する「海外留学生奨学金」および「外国人留学生奨学金」を実施しています。

「海外留学生奨学金」はスポーツの振興・普及および技能向上にかかわる学問・研究を目的に、海外に留学する日本人大学生・大学院生に奨学金を給与する制度です。

「外国人留学生奨学金」は将来母国でのスポーツ関連指導者を指すため、スポーツの振興・普及および技能向上にかかわる学問・研究を目的に、日本に留学している外国人大学生・大学院生に奨学金を給与する制度です。

平成28年度は、4件、合計4,800千円の奨学金を給与しました。

平成29年度は継続2件、合計金額2,400千円の奨学金を給与します。

※ 別紙(2)平成28・29年度(第10期)国際スポーツ奨学金対象者

### 【平成28年度の活動実績】

#### ●国際スポーツ奨学金事業の概要：

	平成29年度	平成28年度
海外留学生	1件	2件
外国人留学生	1件	2件

○奨学金対象者に対し、活動サポートやフォローアップを目的に以下のプログラムを実施しました。

- ・活動報告書の提出(四半期毎)
- ・中間報告会の開催(9月～10月)
- ・成果報告会の開催(3月)

○中間報告会について：

- ・スポーツチャレンジ助成対象者向け中間報告会に合わせ実施しました。(前述)

○成果報告会および修了式について：

第10回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」にて実施しました。

平成29年3月3日(金)～4日(日) 東京大手町ファーストスクエアカンファレンス



中間報告会の様子(チャレンジャーから経過報告)



中間報告会での座談会の様子

### 3. スポーツ討論会の開催 (公1) 助成金事業

スポーツにかかわる人たちのレベルや意識の向上および社会へのスポーツの有用性訴求などを目的に、参加者一人ひとりがスポーツについて「語り」「学び」「考える」機会として、スポーツ討論会を年1回開催しています。平成28年度も前年度同様に、「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」参加者を対象に開催しました。

#### ●第10回「YMFS スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」の概要

・期間：平成29年3月3日（金）～4日（土）（2日間）

・場所：東京大手町ファーストスクエアカンファレンス

・内容：

・平成28年度（第10期）成果報告会および修了式

・平成29年度（第11期）助成金贈呈式

・スポーツ討論会 「（さらなるレベルに向かう）チャレンジする心の持ち方、高め方」

山浦 一保 氏 立命館大学スポーツ健康科学部 教授

スポーツチャレンジ助成 第5期生

・特別講演 「実践から研究へ：スポーツ心理学の観点からパフォーマンス向上を目指して」

長谷川弓子 氏 岩手大学人文社会科学部 准教授

スポーツチャレンジ助成 第7期生

○イベントの様様をホームページの以下のアドレスに掲載しました。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/assist/scmeeting/09/>



スポーツ討論会（講師：山浦一保氏）



スポーツ討論会（グループディスカッションの様子）



特別講演会（講師：長谷川弓子氏）

## <スポーツ振興支援事業>

本事業では、心身ともに健全な子どもたちの育成をめざし、スポーツをより身近に楽しむことや自然・水辺体験の促進に取り組んでいます。

### 1. 全国児童 水辺の風景画コンテスト（公4） 青少年健全育成事業

本事業は、子どもたちの自然体験や水辺体験の促進が社会的な課題となっている中で、小学生以下の児童・幼児を対象に、海や川などの水辺に出かけ、そこで得た、さまざまな体験をテーマに絵を描くことによって、水辺への興味・関心を高め、また、表現力や感性を育むことを目的として絵画コンテストを開催しています。

今年度は第28回として開催し、全国から総数10,321点の応募があり、2回の審査会を経て入選作品602点(入賞作品40点を含む)を決定しました。



#### ●第28回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」の概要

- ・募集期間：平成28年7月1日（金）～9月30日（金）
- ・対象：小学生および幼児
- ・募集方法：当財団ホームページおよび募集リーフレットなどにて告知
- ・審査日程： 予選会：10月18日（火）  
本選会：10月25日（火）
- ・表彰：入賞40点
  - 最優秀賞：文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞
  - 特別賞：審査員長賞、日本マリン事業協会会長賞、日本ユネスコ協会連盟賞、日本マリナー・ビーチ協会会長賞、ジャパングームフィッシュ協会会長賞、国立青少年教育振興機構理事長賞、ヤマハ発動機賞、YMFS特別賞（水辺の生き物、水辺の風景）
  - 優秀賞：金・銀・銅賞（幼児部門、小学校低学年部門、小学校高学年部門）
  - 入選：602点（入賞作品40点、秀作260点、佳作302点）
- ・入選および入賞作品発表：11月1日（火）

#### ○各大臣賞表彰式：受賞者在籍校などにて開催

	日程	開催会場
農林水産大臣賞	12月2日（金）	徳島県吉野川市立西麻植小学校
環境大臣賞	12月5日（月）	大阪府堺市立福泉小学校
文部科学大臣賞	12月12日（月）	兵庫県加西市立北条東小学校
国土交通大臣賞	12月13日（火）	国土交通省関東地方整備局



受賞者の在籍校で表彰式を開催

#### ○入賞作品紹介：

- ・ホームページの以下のアドレスに掲載しました。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/contest/2015/>

- ・「ジャパンインターナショナルボートショー2017」（3月2日～5日、横浜市・パシフィコ横浜）にて展示

※ 公式入場者数：52,252人（前年度 49,515人）

○応募状況について：

- ・作品数：10,321点（前年度8,763点）
- ・団体数：729団体（前年度689団体）※全国の保育園、幼稚園、小学校、絵画教室など

○審査会について：

- ・予選会：専門家による審査で入選作品決定
- ・本選会：専門家、後援省庁および団体による審査で入賞作品決定

	日 程	会 場	審査員
予選会	10月18日（火）	ヤマハ発動機（株）コミュニケーションプラザ	4名
本選会	10月25日（火）	日展会館	16名

○審査結果について：

- ・入選作品 602点（入賞作品40点、秀作260点、佳作302点）

※ 参考 別紙（3） 第28回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」入賞者



審査会（予選会）の様子  
会場：磐田市ヤマハ発動機（株）コミュニケーションプラザ



審査会（本選会）の様子  
会場：都内日展会館



審査員の皆さん



国土交通大臣賞受賞者と

## 2. ジュニアヨットスクール葉山の運営（公4） 青少年健全育成事業

本事業は、心身ともに健全で逞しい子どもたちの育成を目的に、小・中学生から高校生を対象として、通年型のスクール（4月～翌3月）を、神奈川県葉山町で運営しています。平成28年度は34名のスクール生を対象に活動しました。スクール生の保護者を対象としたアンケートでは、本事業を通して子どもたちの逞しさや自発性、協調性など意識・行動の変化や成長を実感できたとの評価を得ました。

### 【平成28年度 年間活動実績】

#### ●スクールの主な活動

- 世代別や個々のセーリング技術のレベルに合わせた独自のクラス分け（ベーシック・マスター・エキスパート・クラブ/レーシング）と、これに沿ったカリキュラムにより、原則、月2回から3回の通常練習を行なっています。
- ・セーリングに関する適切な知識、経験、技能を備えた指導者（コーチ/18名）による適切な指導を行いました。
  - ・「自然・水辺体験学習」の機会を取り入れた総合的なプログラムを通じて、海、水辺、海事に関する安全啓発や知識向上などを行いました。
  - ・スクール運営の更なる充実に向け、保護者の理解協力を促進し、さらに指導者との一体感を醸成するため、保護者会を開催し、活動報告や意見交換を行ないました。全2回。（9月、3月）
  - ・スクール生は技能成果の確認と次年度の目標確認を目的に、「第25回Y M F S セーリング・チャレンジカップ I N 浜名湖」へ参加しました。

※ 活動の様子はホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/junioryachtschool/>



年2回開催しているヨットスクール保護者会



ヨットスクールの練習風景（保護者観覧）



日本ライフセービング協会との連携による「水辺の安全講習会」

○通常練習以外の主な活動

実施内容	日程	場 所
平成28年度始業式	4月10日	葉山マリーナ
江ノ島ノルウェーフレンドシップヨットレース	4月16～17日	江ノ島沖
葉山関東水域OPヨットレース	4月29日	葉山新港
JOCジュニアオリンピック2016	5月3～6日	佐賀県唐津市ヨットハーバー
藤沢チャンピオンレース	6月4日	江ノ島沖
インターナショナル大使館レースサポート	6月11日	葉山マリーナヨットクラブ
レーザ級関東選手権	6月11～12日	江ノ島沖
体力測定	6月12日	逗子アリーナ
水辺の安全講習会	7月17日	葉山町漁協組合会館、葉山マリーナ
水辺の体験活動	7月23～24日	葉山沖
強化練習	7月29～8月3日	葉山マリーナ
レーザ4.7級世界選手権2016	7月30～8月7日	ドイツキール（1名出場）
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会	8月5～7日	東京若洲ヨット訓練所
2016レーザU-21世界選手権	8月11～16日	ドイツキール（1名出場）
第14回全国中学校ヨット選手権	8月19～21日	千葉県稲毛ヨットハーバー
第34回東日本OP級セーリング選手権	8月26～28日	葉山新港
ミキハウス東京カップ2016	9月4日	東京若洲ヨット訓練所
第30回小沢吉太郎記念ヨットレース	9月17～18日	江ノ島沖
保護者会	9月25日	葉山マリーナ
強化練習	10月10.29.30日	葉山マリーナ
JSAF江ノ島オリンピックウィーク2016	10月13～16日	江ノ島沖
第48回全日本OP級選手権	11月3～6日	小戸
2016レーザ級全日本選手権	11月4～6日	江ノ島沖
2016ジュニアユースクリスマスカップ	12月17～18日	江ノ島沖
江ノ島ミッドウインターカップ	1月15日	江ノ島沖
体力測定	1月22日	葉山マリーナ
レーザミッドウインター	2月11～12日	広島県観音マリーナ
冬風ヨットレース	2月19日	江ノ島沖
平成28年度修了式、保護者会	3月5日	葉山マリーナ
第25回YMFSセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖	3月18～20日	静岡県立三ヶ日青年の家



OP級のレース風景



大使館ヨットレースをサポート（会場葉山マリーナ）

### 3. セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖の開催（公6）調査研究・教材製作・競技会等運営事業

本事業は、心身ともに健全な子どもたちの育成を目的に、全国のジュニア・ユースセイラーが一堂に会し、日頃の練習成果や次年度の目標確認の場として、また技術指導や選手・指導者同士の交流を通じて、全体的レベルアップと技術向上に資するため、「学べるレガッタ」を特徴として開催し、今年度は25回目の節目の大会となりました。

#### ●第25回「YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」の概要

- ・開催日時：平成29年3月18日（土）～20日（月）（3日間）
- ・開催場所：静岡県立三ヶ日青年の家
- ・共同主催：（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団、NPO 法人静岡県セーリング連盟
- ・公認団体：（公財）日本セーリング連盟（承認番号 H28-48）
- ・運営協力：NPO 法人静岡県セーリング連盟
- ・協賛：三井住友海上火災保険（株）、ヤマハ（株）、（株）ワイズギア、（株）舵社、（株）ヤマハトラベルサービス、（株）ノースセール・ジャパン、パフォーマンスセイルクラフトジャパン（株）
- ・後援：スポーツ庁、（公財）日本体育協会、静岡県、静岡県教育委員会、（公財）静岡県体育協会、浜松市、浜松市教育委員会、（公財）浜松市体育協会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、NHK 静岡放送局浜松支局、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡FM放送、浜松FM放送、日本オプティミストディンギー協会、日本レーザークラス協会、日本FJ協会、日本420協会、ミニホッパー協会、（一社）日本ジュニアヨットクラブ連盟
- ・協力：静岡県立三ヶ日青年の家、静岡県立三ヶ日青年の家ヨットリーダーズクラブ、南平自治会
- ・競技種目：OP級、ミニホッパー級、レーザー4.7級、レーザーラジアル級、FJ級、420級  
※国際レーザー4.7級、レーザーラジアル級は、世界選手権国内選考会を兼ねます。
- ・参加資格：ジュニアおよびユース選手

○大会には、全国から36クラブ、128隻、162名が参加した過去最大の大会となりました。

○（独法）日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金」の助成を受けて開催しました。

（交付決定額 4,069千円）当該助成金は、指導講師、医師、審判員・スタッフ等への謝金、大会役員への宿泊費・交通費、運営艇等の借用料・運送料等に使用しました。

○大会期間中、特別講師による技術指導・勉強会を開催しました。

#### <特別講師の紹介>

- ・佐々木 共之 氏（オリンピック。日本レーザークラス協会 強化委員長）
- ・榮樂 洋光 氏（鹿屋体育大学講師、日本レーザークラス協会 強化委員、YMFS体験助成 第1期生）
- ・齋藤 浩二 氏（ジュニア時代からOP級の世界大会で活躍ジュニア・ユース世代の指導を实践、YMFSコーチ）
- ・米倉 礼子 氏（管理栄養士。2008年まで日本セーリング連盟の強化スタッフ）

※ 参考 別紙（5） 第25回「YMFS セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」参加団体と上位入賞者



表彰式後、全員で記念撮影



好天の中、果敢にチャレンジ



今大会もスポーツ振興センターの助成を受けて開催

#### 4. スポーツ教材の提供（公5）普及・振興事業

本事業は、教材の活用を通じて子どもたちが楽しく体を動かすきっかけとなり、スポーツ好きな子どもの増加、体力・運動能力の向上、心身の健全な育成の一助となることを目的に、全国の幼稚園、小学校、中学校、ジュニアスポーツクラブ、総合型地域スポーツクラブなどを対象に実施しています。

平成28年度は合計146団体にスポーツ教材を提供しました。（被災地支援11団体含む）

また、3年目を迎えた「指導サポート付きタグラグビー教材の提供」は、募集に対し申請のあった11の小学校・団体に実施しました。

これらを通じて全国で約1万3千人の子どもたちや教師・指導者が参加した活動になりました。

##### ●平成28年度「スポーツ教材の提供」の概要：

- ・募集期間：平成28年4月15日（金）～6月9日（木）
- ・使用対象：幼児から中学生
- ・提供対象：「スポーツ機会の充実に向けた新たな取り組み」を計画している135団体  
※団体とは、保育園、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、児童養護施設、教育委員会、体育協会、スポーツ少年団・クラブ・スクールなどスポーツに実際に取り組む活動単位を指します。
- ・提供教材：①サッカーボール 60団体 ②タグラグビーセット 75団体
- ・募集方法：当財団ホームページおよび教育委員会など通じた案内で告知
- ・選考方法：書類審査の上、第三者による厳正な抽選により決定
- ・結果通知：当財団ホームページに抽選結果掲載後、提供先団体へメールにて通知
- ・提供方法：7月中旬に提供団体へ発送



##### ○申請状況および抽選結果について：

- ・申請総数：862団体（前年度935団体）
- ・抽選会：6月14日（火）東京丸の内マイプラザ  
※書類審査の上、（公財）日本体育協会 副会長 岡崎助一氏による抽選。
- ・抽選結果：135団体（前年度120団体）

##### ○東日本大震災及び熊本地震の被災地小学校などへの支援活動

被災の影響で、スポーツ機会の減少による体力低下や肥満児童の増加などの課題を抱えているなど教育現場からの声を踏まえ、個別に実情を確認の上、本年度は被災地の小学校など合計11校・団体に提供しました。

（前年度65団体）



抽選会の様子（会場：都内マイプラザ）  
抽選者：日本体育協会 岡崎副会長



スポーツ教材を活用してタグラグビー体験

○指導サポート付きタグラグビー教材の提供について：「はじめてのタグラグビー教室の開催」

ヤマハ発動機（株）の協力を得て、直接指導可能な当財団近隣地域（静岡県西部地域の磐田市・袋井市・掛川市・周智郡森町）をモデルエリアとして、該当地区の小学校を対象に募集を行い、申請のあった11校・団体に実施しました。

実施した小学校		日 程	指導者教員対象	児童対象
1	掛川市立上内田小学校	7月4日・9月5日	2名	19名
2	掛川市立曾我小学校	7月11・12日	8名	92名
	同上	9月7日	—	92名
	同上	11月24日	—	90名
3	掛川市体育協会	8月23日	—	15名
4	掛川市立原谷小学校	10月21日	—	92名
5	袋井市立袋井北小学校	5月17・19日	—	137名
6	袋井市立袋井南小学校	10月26日	—	95名
7	袋井市立袋井東小学校	11月2日	—	100名
8	袋井市立三川小学校	11月7・14日	—	100名
9	袋井市立今井小学校	11月22日	—	30名
10	袋井市立山名小学校	11月18日	—	140名
	同上	11月28日	13名	—
11	周智郡森町カサミアクティブキッズ	9月26日	11名	31名
合 計	11校・団体		34名	1,033名

○提供教材の効果的な活用事例をホームページの以下のアドレスで掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/support/supply/>

※ 参考 別紙（4） 平成28年度 スポーツ教材の提供先団体



静岡県掛川市立曾我小学校でのタグラグビー体験教室



トップリーグ選手の指導を受ける子供たち

## <スポーツ文化・啓発事業>

本事業ではスポーツを通じた心豊かな社会づくりに貢献するために、「スポーツチャレンジ賞」の表彰や調査研究活動をはじめ、各事業の活動実績や知見、情報をより広く社会に発信する活動を行なっています。

### 1. スポーツチャレンジ賞表彰（公3） 表彰事業

本事業は、スポーツ振興において多大なる実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰します。スポーツに関する幅広い分野（技術、指導、研究、普及、ジャーナリズムなど）において、輝かしい功績をあげ、かつ、これまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体を対象としており、これが本賞の特徴となっています。本賞は「功労賞」と「奨励賞」の2部門で構成されています。

- ・第8回「スポーツチャレンジ賞」（平成27年度）の表彰式を4月22日（金）に都内にて開催しました。
- ・第9回「スポーツチャレンジ賞」（平成28年度）の受賞者を決定しました。

また、受賞者の足跡や功績に対する社会一般への理解促進を図るために、当財団ホームページにてスペシャルコンテンツ「BACK STORIES」を公開しています。

#### ●賞の概要（功労賞、奨励賞）：

##### （功労賞）

- ・対象者：既に優れた成果をあげ、功をなした人物・団体
- ・内容：長年もしくは過去に行われ、現在のスポーツ振興の礎となるような貢献や、先駆的実績を誇るチャレンジで、注目を浴びることの少なかった、本来高い評価を得るに相応しい、「縁の下の力持ち」的な存在を表彰します。

##### （奨励賞）

- ・対象者：その年、高い成果をあげ、今後さらなる成長が期待される人物・団体
- ・内容：短期的もしくは中期的に行われ、その年、極めて高い成果をあげ、今後のスポーツ振興に大きな影響力の発揮が期待されるチャレンジで、注目を浴びることの少なかった、本来高い評価を得るに相応しい、「縁の下の力持ち」的な存在を表彰します。

#### 【前年度（平成27年度）からの継続活動実績】

##### ●平成27年度 第8回「スポーツチャレンジ賞」の概要：

- ・候補者推薦募集：平成27年10月1日（木）～11月15日（日）
- ・選考委員会：第1回 平成27年12月10日（木）、11日（金）  
第2回 平成28年1月20日（水）、21日（木）
- ・表彰式：平成28年4月22日（金）如水会館（東京都）

## ○各賞受賞者のご紹介

(功労賞) 藤原 進一郎 氏

日本障がい者体育・スポーツ研究会元・理事長、日本障がい者スポーツ協会元・理事、技術委員会元・委員長、日本パラリンピック委員会元・運営委員、極東・南太平洋身体障害者スポーツ連盟（当時）スポーツ委員会元・委員長

「すべての障がい者の生活にスポーツをーその信念を貫いた40年」

(奨励賞) 中島 正太 氏

前・15人制男子ラグビー日本代表チーム／現・7人制男子ラグビー日本代表チームアナリスト

「先端技術を駆使したデータ分析で、ラグビー日本代表の躍進に貢献」

## ○表彰式実績

・開催日：平成28年4月22日（金）

・開催場所：如水会館（東京都）

・参加者：受賞者、推薦者、応援者、報道機関、選考委員、理事等関係者 合計94名

※ 当日の様子はホームページの以下のアドレスにて掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/07/commendation/>



功労賞受賞者（藤原進一郎氏）と応援者の皆さん



奨励賞受賞者（中島正太氏）と応援者の皆さん

## 【平成28年度の活動実績】

### ●平成28年度 第9回「スポーツチャレンジ賞」の概要：

- ・候補者推薦募集：平成28年9月15日（木）～11月15日（火）
- ・募集方法：当財団ホームページ及びニュースリリースなどで告知
- ・選考委員会開催：第1回 平成28年12月8日（木）、9日（金）  
第2回 平成29年1月19日（木）、20日（金）
- ・表彰式：平成29年4月21日（金） 如水会館（東京都）

### ○受賞者選考について：

競技団体、大学、報道機関などから7件の候補者推薦を受け、当財団に設置した有識者・専門家による選考委員会（2回）を経て受賞者を決定しました。

選考委員会	日程	会場	審査委員
第1回	12月8日（木）	丸の内マイプラザ	4名
	12月9日（金）		6名
第2回	1月19日（木）	丸の内マイプラザ	7名
	1月20日（金）		8名

### ○各賞受賞者紹介

（功労賞） 今村 大成 氏

株式会社タマス取締役／Tamasu Butterfly Europa GmbH 社長  
日本若手卓球選手の武者修行を支え続ける「デュッセルドルフの父」



（奨励賞） 野口 智博 氏

日本大学文理学部 教授、木村敬一選手パーソナルコーチ  
障害者スポーツ全体の課題に先鞭をつけた挑戦  
～トップスポーツ選手の指導からパラアスリート強化の現場へ～



### ○スペシャルウェブコンテンツ「BACK STORIES（バック・ストーリーズ）」について：

※ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL: <http://www.ymfs.jp/project/culture/prize/backstories/>



## 2.調査研究への取り組み (公6) 調査研究・教材製作・競技会等運営事業

スポーツ振興やスポーツ文化向上にかかわる社会的課題の解決に寄与するため、当財団の特徴を活かし得る分野において調査研究活動を行い、その成果を広く社会に発信しています。

平成28年度はこれまでの委員会体制から、調査研究テーマに沿って、より機動的に活動するために、障害者スポーツとトップスポーツの2つのプロジェクトに改変して活動を行いました。

5年目となる障害者スポーツ分野では「障害者スポーツの振興と強化に関する調査研究報告書－テレビ放送、選手認知度、大学による支援に注目して－」を。また、2年目となるトップスポーツでは「トップスポーツの持続可能なシステム構築に向けた探索的調査その1－ジャパンラグビートップリーグに着目して－」に取り組み、調査結果を報告書として発行しました。

前年度実施した「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築にむけた基礎的調査研究」の社会発信の場として、シンポジウムを開催し、約100名の参加者とともに、障害者スポーツの抱える課題や環境改善の方向性について活発な意見交換を行いました。

### 【平成28年度調査研究報告書】 ※平成29年3月31日発行

- (1) 障害者スポーツの振興と強化に関する調査研究報告書  
 ーテレビ放送、選手認知度、大学による支援に注目してー  
[URL:http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/008/](http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/008/)
- (2) トップスポーツの持続可能なシステム構築に向けた探索的調査その1  
 ー ジャパンラグビートップリーグに着目して ー  
[URL:http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/009/](http://www.ymfs.jp/project/culture/survey/009/)



### 【平成28年度調査研究活動について】

- (1) 障害者スポーツに関して
  - 障害者スポーツに関するメディア露出状況と社会的認知度の関連性について
  - パラリンピアンへの社会認知度調査（インターネット調査）
  - 大学における障害者スポーツ環境調査インタビュー調査
    - ・ 立教大学 (1月31日)
    - ・ 日本体育大学 (2月10日)
  - 静岡県三島市主催 障害者スポーツ普及体験イベント「チャレンジスポーツ教室」視察 (1月22日)
  - 報告書の発行（平成29年3月31日）  
 「障害者スポーツの振興と強化に関する調査研究報告書  
 -テレビ放送、選手認知度、大学による支援に注目して-」
  - プロジェクトの主な会議実績



	開催日	会場	出席者
第1回	平成28年8月9日(火)	ヤマハ発動機(株)東京事務所	9名
第2回	平成28年10月4日(火)	京都駅前末広ビル会議室	8名
第3回	平成28年11月5日(土)	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	9名
第4回	平成28年12月12日(月)	ヤマハ発動機(株)東京事務所	8名
第5回	平成29年2月13日(月)	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	10名

(2) トップスポーツの現状と課題に関する調査研究活動

国内のトップスポーツが学校運動部と企業スポーツを基盤としていた時代から、サッカー Jリーグのような地域に根差したスポーツクラブへと変化していく流れを踏まえ、今後の日本におけるトップスポーツを取り巻く課題を明らかにし、国内のスポーツ振興におけるトップスポーツの未来像を導き出すことを目的に本テーマに取り組みました。

今年度は、ラグビーワールドカップ 2015 イングランド大会での日本代表の活躍によりラグビーへの関心が高まった翌年の状況確認と、今後、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の開催を控えた継続調査として、ラグビーフットボールを調査対象競技としました。

○ラグビーフットボール関係者へのインタビュー調査

- ・ (公財) 日本ラグビーフットボール協会 (2月1日)
- ・ 兵庫県ラグビーフットボール協会 (2月14日)
- ・ 静岡県ラグビーフットボール協会 (2月16日)

○ジャパンラグビートップリーグにおけるスタジアム観戦者調査

- ・ 12月18日(日) ノビアスタジアム神戸 (兵庫県神戸市)  
ヤマハ発動機ジュビロVS神戸製鋼コベルコスティーラーズ戦
- ・ 12月24日(土) ヤマハスタジアム (静岡県磐田市)  
ヤマハ発動機ジュビロVSサントリーサンゴリアス戦

○報告書の発行 (平成29年3月31日)

『「トップスポーツ」の持続可能なシステム構築に向けた探索的調査その1  
— ジャパンラグビートップリーグに着目して —』



○プロジェクトの主な会議実績

	開催日	会場	出席者
第1回	平成28年8月30日(火)	ヤマハ発動機(株)東京事務所	9名
第2回	平成28年10月7日(金)	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	7名
第3回	平成28年11月11日(金)	東京国際フォーラム	7名
第4回	平成29年3月9日(木)	御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター	6名



障害者スポーツ・プロジェクト会議の様子 (都内)



ラグビートップリーグ観戦者調査の様子 (会場: ヤマハスタジアム)

## 【シンポジウムの開催概要】

- テーマ：「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けて」
- 日程：平成28年11月5日（土）
- 場所：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター（都内）
- 主催：（公財）ヤマハ発動機スポーツ振興財団
- 後援：スポーツ庁、（公財）日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、（公財）日本体育協会、（公財）日本オリンピック委員会、（公財）笹川スポーツ財団、（公社）東京都障害者スポーツ協会
- 内容：
  - ・開会挨拶：浅見 俊雄 氏（東京大学・日本体育大学 名誉教授／当財団 理事）
  - ・調査報告：「障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けて」  
藤田 紀昭 氏（日本福祉大学教授/当財団障害者スポーツ・プロジェクトリーダー）
  - ・パネルディスカッション  
コーディネーター：齊藤まゆみ 氏（筑波大学体育系准教授／当財団障害者スポーツ・プロジェクトメンバー）  
パネリスト：
    - 一ノ瀬 メイ 氏（近畿大学水上競技部、リオ2016パラリンピック日本代表）
    - 辻 沙絵 氏（日本体育大学陸上競技部パラアスリートブロック、リオ2016パラリンピック陸上400m銅メダル）
    - 村上 光輝 氏（一般社団法人日本ボッチャ協会強化指導部長、リオ2016パラリンピックボッチャ競技ヘッドコーチ）
    - 三井 利仁 氏（一般社団法人日本パラ陸上競技連盟理事長、国際パラリンピック委員会陸上競技国際技術委員、日本福祉大学准教授・医学博士）



シンポジウムの様子

（会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター）



パネルディスカッションの様子



平成27年度調査報告をする藤田紀昭氏



シンポジスト他の方々

### 3. ホームページ運営と刊行物の発行 (公7) 普及広報事業

当財団ホームページでは、スポーツ振興やスポーツ文化向上による社会活性化への貢献を目的に、広く社会に対して事業活動の情報を発信しています。また刊行物やリリース発行などでの普及広報活動の充実にも努めています。

【ホームページの運営】 YMFS ホームページ URL: <http://www.ymfs.jp/>

#### ○主な掲載内容：

- ・各事業活動の告知（案内、募集、結果報告など）
- ・「スポーツチャレンジ助成」対象者の実像紹介（チャレンジャーズファイルなど）
- ・「スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティング」の報告（スポーツ討論会や講演会など）
- ・「スポーツチャレンジ賞」受賞者の人物像紹介(BACK STORIES)
- ・「ジュニアヨットスクール葉山」の活動紹介
- ・「セーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖」の開催報告
- ・「スポーツ教材の提供」の模範的活用事例の紹介
- ・「全国児童 水辺の風景画コンテスト」の実施報告
- ・調査研究活動に関する報告



#### ○財団ホームページのアクセス数：

- ・平成28年度：302,098 P V（平成27年度：313,704 P V）

※ P V = PAGE VIEW

#### ○ニュースリリース発行数：12本（平成27年度16本）

#### ○国内プレスリリースポータルサイト“News2u”を通じて情報発信

#### ○メディア掲載

- ※ 別紙（6）メディア掲載情報

#### ○会報誌「Do the Challenge」の発行：

- ・概要：スポーツチャレンジ助成事業における助成対象者、OB・OG、審査委員、事務局を結ぶ会報誌。  
相互の情報共有に資するとともに、事業関係者に対する財団活動への理解促進を図ることを目的とする。
- ・発行：A4・4頁、年3回（6月・11月・3月）部数：250部/回

#### ○刊行物の発行：

- 当財団事業の社会的意義への理解促進や個別事業の円滑な運営を目的に発行。  
スポーツ関係団体や報道関係者などのコミュニケーション促進に活用しています。
- ・「平成27年度年間事業報告書」500部
  - ・「平成28年度調査研究報告書」1,000部
  - ・「YMFS通信」毎月発行 メール配信先約200か所

## 【事務報告】

### ■平成28年度 理事会、定時評議員会

#### 1. 理事会

○第1回理事会 平成28年5月27日（金） 東京丸の内マイプラザ

##### 【決議事項】

- ・平成27年度事業報告承認の件
- ・平成27年度計算書類等承認の件
- ・平成28年度定時評議員会招集の件
- ・次期中期事業方針承認の件

##### 【報告事項】

- ・第9回スポーツ・チャレンジャーズ・ミーティングについて
- ・第24回セーリング・チャレンジカップについて
- ・第8回スポーツチャレンジ賞について、その他



平成28年度第1回理事会

○第2回理事会 平成28年10月24日（月） 東京丸の内マイプラザ

##### 【決議事項】

- ・調査研究委員会規程一部改正及びコンプライアンス規程制定の件

##### 【報告事項】

- ・平成28年度上半期事業報告、下半期事業活動
- ・平成28年度中間決算と下期見通し報告

○第3回理事会 平成29年2月28日（火） 東京丸の内マイプラザ

##### 【決議事項】

- ・平成29年度事業計画承認の件
- ・平成29年度収支予算承認の件

##### 【報告事項】

- ・平成28年度事業概況報告
- ・平成28年度収支見通報告
- ・その他、業務執行状況の報告



平成28年度第2回理事会

2. 定時評議員会 平成28年6月14日（火） 東京丸の内マイプラザ

##### 【決議事項】

- ・平成27年度計算書類等承認の件
- ・理事選任の件
- ・代表理事、業務執行理事(常務理事)選定の件

##### 【報告事項】

- ・平成27年度事業報告
- ・平成28年度事業計画報告、その他



平成28年度定時評議員会

■理事・監事・評議員

敬称略 五十音順

<理事> 総数9名

平成28年6月14日現在

役職	常・非常勤	氏名	現職
理事長	非常勤	木村 隆昭	ヤマハ発動機(株) 代表取締役副社長
常務理事	常勤	大庭 義隆	(公財)ヤマハ発動機スポーツ振興財団 事務局長兼任
理事	非常勤	浅見 俊雄	東京大学 名誉教授、日本体育大学 名誉教授
〃	〃	伊坂 忠夫	立命館大学スポーツ健康科学部 教授 (学部長)
〃	〃	齋藤 順三	ヤマハ発動機(株) 執行役員 人事総務本部長
〃	〃	定本 朋子	日本女子体育大学大学院研究科長・基礎体力研究所所長 教授
〃	〃	千足 耕一	東京海洋大学 海洋科学部海洋政策文化学科 教授
〃	〃	花内 誠	(株)電通スポーツ局スポーツ2部 部長
〃	〃	柳 敏晴	神戸常盤大学教育イノベーション機構長 教授

<監事> 総数2名

平成28年6月14日現在

常・非常勤	氏名	現職
非常勤	加山 秀剛	新日本有限責任監査法人 パートナー 公認会計士
〃	渡辺 政弥	ヤマハ発動機(株) 統合監査部長

<評議員> 総数9名

平成28年6月14日現在

常・非常勤	氏名	現職
非常勤	遠藤 功	ヤマハ発動機(株) 監査役
〃	岡崎 助一	(公財)日本体育協会 副会長 (元文部省競技スポーツ課長)
〃	塩谷 立	衆議院議員
〃	武井 一浩	弁護士
〃	戸田 邦司	(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 会長 (元運輸省海上技術安全局長)
〃	西山 正樹	ヤマハ発動機(株) 顧問 (元警察庁中部管区警察局長)
〃	晝馬 明	浜松ホトニクス(株) 代表取締役社長
〃	柳 弘之	ヤマハ発動機(株) 代表取締役社長
〃	柳澤 伯夫	城西国際大学学長 (元衆議院議員)

■事業協力者関係者

<スポーツチャレンジ助成審査委員> 総数 19 名

敬称略 五十音順

平成 29 年 3 月 31 日現在

※以下の審査委員はスポーツチャレンジ賞選考委員を兼ねています。

役職	氏名	現職	備考
審査委員長	浅見 俊雄	東京大学名誉教授・日本体育大学名誉教授	運動生理学
審査委員	伊坂 忠夫	立命館大学スポーツ健康科学部学部長教授	バイオメカニクス
"	衛藤 隆	東京大学名誉教授・大阪教育大学客員教授	健康教育学
"	遠藤 保子	立命館大学産業社会学部教授	文化人類学
"	小島 智子	追手門学院大学客員教授	元 NFL チアリーダー
"	景山 一郎	日本大学生産工学部教授	機械工学
"	川上 泰雄	早稲田大学スポーツ科学学術院教授	運動生理学
"	北川 薫	梅村学園学事顧問、梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議議長、中京大学名誉教授	運動生理学
"	草加 浩平	東京大学大学院工学系研究科特任教授	工学系研究科
"	定本 朋子	日本女子体育大学大学院研究科長、基礎体力研究所所長 教授	運動生理学
"	篠原 菊紀	諏訪東京理科大学共通教育センター教授	健康教育学
"	杉本 龍勇	法政大学経済学部教授	スポーツ経済学
"	高橋 義雄	筑波大学体育系准教授	スポーツ社会学 スポーツマネジメント
"	福永 哲夫	東京大学名誉教授、鹿屋体育大学特任教授	バイオメカニクス
"	増田 和実	金沢大学人間社会研究域人間科学系教授	運動生理学
"	丸山 弘道	株式会社オフィス丸山弘道	テニス指導者
"	村田 亙	専修大学ラグビー部監督	元ラグビー選手
"	山本 裕二	名古屋大学総合保健体育科学センター教授	体育・スポーツ心理学
"	ヨコベ ヴァンランド	嘉悦大学女子バレーボール部監督	元バレーボール選手

<スポーツ教材提供 抽選者>

平成 29 年 3 月 31 日現在

役職	氏名	現職
評議員	岡崎 助一	(公財) 日本体育協会 副会長 (元文部省競技スポーツ課長)

<調査研究プロジェクトメンバー>

平成29年3月31日現在

プロジェクト	役職	氏名	現職
担当理事		浅見 俊雄	東京大学名誉教授・日本体育大学名誉教授
障害者スポーツ プロジェクト	リーダー	藤田 紀昭	日本福祉大学 教授
	メンバー	齋藤まゆみ	筑波大学 体育系 准教授
	〃	河西 正博	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 専任講師
	〃	小淵 和也	(公財) 笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所 研究員
	アドバイザー	中森 邦男	日本障がい者スポーツ協会強化部長
トップスポーツ プロジェクト	リーダー	岡本 純也	一橋大学大学院商学研究科 准教授
	メンバー	澁谷 茂樹	(公財) 笹川スポーツ財団スポーツ政策研究所 主任研究員
	〃	澤井 和彦	明治大学商学部 准教授
	〃	中村 英仁	一橋大学大学院商学研究科 専任講師
	アドバイザー	涌田 龍治	京都産業大学経営学部 准教授

<第28回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」審査員> 総数16名

平成29年3月31日現在

役職	氏名	現職
審査員長	工藤 和男	(一社) 創元会 会長、公益社団法人日展 会員
審査員	湯澤 麻起子	文部科学省生涯学習政策局青少年教育課 青少年体験活動推進専門官
〃	佐々木 宏	国土交通省港湾局海洋・環境課 課長
〃	久米 英行	環境省水・大気環境局水環境課 課長補佐
〃	田中 健治	農林水産省水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐
〃	小川 尊一	(一社) 創元会 副理事長、公益社団法人日展 会員
〃	服部 譲司	(一社) 創元会 会員、公益社団法人日展 会友
〃	杉山 悦照	(一社) 創元会 会員、浜松美術協会 会員
〃	国広 富之	俳優、画家
〃	吉海 浩一郎	(一社) 日本マリン事業協会 専務理事
〃	間瀬 雅晴	(公社) 日本ユネスコ協会連盟 理事
〃	谷山 晋	(一社) 日本マリーナ・ビーチ協会 理事
〃	岡田 正文	NPO 法人ジャパンゲームフィッシュ協会 事務局 事業部長
〃	平川 康弘	(独法) 国立青少年教育振興機構 総務企画部 部長
〃	小畑 利栄	ヤマハ発動機(株) 人事総務本部 総務部 部長
〃	大庭 義隆	(公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団 常務理事兼事務局長

<ジュニアヨットスクール葉山 指導員>

平成28年7月31日現在

クラス	役職	氏名	備考
全クラス	校長 (主任コーチ)	箱守 康之	日本体育協会公認上級コーチ、赤十字救急法救助員
〃	コーチ	小池 哲生	
〃	コーチ	木下 隆介	
〃	サポートコーチ	鎌田 祥一	日本体育協会公認スポーツリーダー
	トレーナー	水野 元晴	日本体育協会公認アスレティックトレーナー
エキスパート/クラブ	コーチ	清水 大資	日本体育協会公認コーチ、救急救助員
〃	〃	柴田 牧子	
〃	〃	千足 菜穂	
〃	〃	飛内 航太	
ベーシック/マスター	主任コーチ	湯原 浩一	日本体育協会公認スポーツリーダー、救急救助員
〃	コーチ	上松 慮生	日本体育協会公認コーチ、救急救助員
〃	〃	竹腰 真紀子	栄養士
〃	〃	長谷 美和子	
〃	〃	石上 潔	
〃	〃	齋藤 浩二	
〃	〃	竹内 菜穂	
〃	〃	若林 友世	
〃	〃	深沢 瑛里	
〃	〃	井上 寛子	
〃	〃	富部 柚三子	管理栄養士

別紙（１） 平成 28・29 年度（第 10・11 期）助成対象者

■ 第 10 期 スポーツチャレンジ研究助成 対象者（平成 28 年 3 月 2 日現在）

基本助成		
氏名（年齢）	チャレンジテーマ	所属
いけど あおい 池戸 葵（25）	女子アスリートの疲労骨折予防に向けたビタミンD補給法の検討	立命館大学 スポーツ健康科学研究科
おがわ てつや 小川 哲也（37）	異なる速度のランニング動作を司る中枢神経機構の解明	東京大学大学院 総合文化研究科
こばやし ゆうじ 小林 雄志（37）	瞬発的筋力発揮トレーニングとスロートレーニングを組み合わせた新規トレーニング手法の開発	熊本大学大学院 社会文化科学研究科
しんや まさひろ 進矢 正宏（33）	球のキレの正体 - 打者の予測誤差の観点から -	東京大学大学院 総合文化研究科
たかくら ひさし 高倉 久志（31）	持久的運動トレーニング効果を最大化する運動実施タイミングの検討	同志社大学 スポーツ健康科学部
ひらおか ひろあき 平岡 拓晃（30）	柔道選手の減量におけるコンディション評価方法の検討	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
みうら あきと 三浦 哲都（32）	トップアスリートのリズム感（リズムカルな環境情報への位相差生成能力）の計測	早稲田大学 スポーツ科学学術院
みずの たかまさ 水野 貴正（33）	静的ストレッチングに電気刺激を組み合わせた筋力増強法の開発	名古屋大学 総合保健体育科学センター
はやし ようすけ 林 洋輔（33）	「エクササイズ」概念の再解明：西洋哲学における「エグゼシスExercice」に着眼して	大阪教育大学 教育学部保健体育講座
まつだ たいき 松田 太希（27）	スポーツ集団の暴力性に関する社会哲学的研究	広島大学大学院
むこうやま まさとし 向山 昌利（40）	スポーツ・メガイバントが被災都市の復興戦略に及ぼす影響に関する研究：釜石市を事例として	びわこ学院大学 短期大学部ライフデザイン学科
継続助成①		
ふじい けいすけ 藤井 慶輔（29）	バスケットボールの実際のゲーム中における動きの激しさの評価	名古屋大学 総合保健体育科学センター
ふじばやし のぶあき 藤林 献明（31）	2020東京五輪において男子三段跳でのメダル獲得に挑戦するトップアスリート支援型研究	立命館大学 共通教育推進機構
わしや ようすけ 鷺谷 洋輔（33）	柔道道場における学習実践のフィルムエスノグラフィ	トロント大学大学院 エクササイズサイエンス研究科
継続助成②		
ふくだに あつき 福谷 充輝（33）	タイチンの受動張力を活用した、高速動作時であっても大きな筋力を発揮する方法の探索	立命館大学 総合科学技術研究機構

■第10期 スポーツチャレンジ体験助成 対象者（平成28年3月2日現在）

基本助成			
氏名（年齢）	種目	チャレンジテーマ	所属
いけだ みきお 池田 樹生（19）	陸上（短距離）／障害者 スポーツ／選手	陸上短距離種目でのリオデジャネイロパラリンピック出場及び障害者スポーツの普及	中京大学
いしい しゅんぺい 石井 駿平（18）	自転車（ロード/トラック） ／選手	2020年東京オリンピックへの挑戦～メジャー化に向け自転車競技で世界を相手に活躍できる選手になる！～	前橋工業高等学校
うめつ はるか 梅津 春香（17）	フェンシング（フルレ）／ 選手	世界ジュニア選手権大会フルレ種目で、日本人女子初の金メダル獲得への挑戦	帝京高等学校/JOCエリートアカデミー
きむら さえこ 木村 彩恵子（25）	スノーボード／選手・指導者	カナダにおける最高レベルのスノーボード指導資格「CASI4」取得に向けた挑戦	北海道スキー連盟
つじ さえ 辻 沙絵（21）	陸上（短距離）／障害者 スポーツ／選手	競技転向を経て、陸上競技短距離種目において2020年東京パラリンピックでメダル獲得を目指す試み	日本体育大学
てばかり たける 手計 岳隆（17）	スノーボード（クロス）／選 手	冬季オリンピックでスノーボードクロス日本代表になりメダルを獲得する為に	日体荏原高等学校
ふじわら ひろし 藤原 祐志（56）	馬術／競技役員	2020 TOKYOに向け国際馬術連盟の総合馬術スチュワードレベル1の資格を取得し競技会運営に寄与する	アルパイン株式会社
ほそだ しょうたろう 細田 将太郎（24）	スキー（ジャンプ）／選手	スキージャンプ競技でワールドカップ出場、2018年のピョンチャンオリンピックでメダル獲得を目指して	北翔大学
継続助成①			
やぎ あいり 八木 愛莉（20）	カヌースラローム（カナディ アンシングル）／選手	東京五輪初オリンピック史上初のメダル獲得を目指して。カヌースラローム競技女子C-1本場欧州への挑戦。	早稲田大学
継続助成②			
うちやま まさたか 内山 雅貴（20）	自転車（ロード・トラック） ／選手	東京オリンピック自転車競技での代表選考・メダル獲得に向けた欧州UCIレースへの挑戦	サイクルレーシングチーム ボンシヤンス
みうら ゆうき 三浦 優希（19）	アイスホッケー／選手	常にエキストラリーグで活躍する選手となり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪へ導く	日本放送協会学園高等 学校
柳岡（はるか）（20）	フェンシング（フルレ）／ 選手	2020年のオリンピックでフェンシング日本人女子初の金メダルを獲得	法政大学

<第10期生 スポーツチャレンジNEXT対象者>（平成28年3月2日現在）

チャレンジNEXT			
氏名（年齢）	種目	チャレンジテーマ	所属
かみはし けいしん 神箸 溪心（15）	スノーカー（ピリヤード）／ 選手	スノーカー世界チャンピオンへの道 ～海外で武者修行を行い、競技力向上、スノーカーの普及に貢献する～	名古屋市立守山中学校
わかつき あらた 若月 新（15）	スキー（アルペン）／選手	アルペンスキーで、南半球のニュージーランドで行われる国際スキー連盟主催のスキー大会に初挑戦したい	北照高等学校
チャレンジNEXT継続			
うえがき ひかる 上垣 光（16）	水泳／障害者スポーツ／選 手	2020年東京パラリンピック競泳競技で金メダルを取るために本気の挑戦を積み重ねる。	市川高等学校
ふるはた かいき 古畑 海生（16）	水泳／選手	大好きな水泳競技で進化を遂げて未来の扉を開き、本気の挑戦でオリンピック選手になる！	市川高等学校

■第11期 スポーツチャレンジ研究助成 対象者（平成29年2月1日現在）

区分	氏名	分野	チャレンジテーマ	所属
奨励	え だに たかひで 恵谷 隆英 (28)	自然科学	音の空間イメージがリズム的な全身運動に与える影響	東京大学大学院 総合文化研究科
	ひらの ともや 平野 智也 (28)		片側前腕切断スプリンターのスプリント走におけるスタート局面のパフォーマンスと動作に義手が与える効果	日本体育大学大学院
	やぎ まさひで 八木 優英 (29)		超音波診断装置を使用した股関節不安定性の評価法の確立	京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系 専攻 リハビリテーション科学コース
	わしの そうへい 鷲野 壮平 (25)		呼吸筋トレーニングによるトップスイマーの記録向上への挑戦	鹿屋体育大学大学院 体育学研究科
	おがわ しょうた 尾川 翔大 (25)	人文社会	戦間期の日本におけるスポーツ政策に関する歴史学的研究	日本体育大学大学院 体育科学研究科
基本	あまの たつろう 天野 達郎 (31)	自然科学	運動による汗腺機能の適応機序の解明：カルシトニン遺伝子関連ペプチドの役割	新潟大学 教育学部 健康スポーツ科学講座
	いわやま かいと 岩山 海渡 (34)		持久的運動時のグリコーゲン節約を狙った高脂肪食摂取の検討	国立スポーツ科学センター
	おおつか みつお 大塚 光雄 (33)		縦断的研究：400mハードル走において大幅自己記録更新時のレースペースを推定することができるか	立命館大学 スポーツ健康科学部
	さとう だいすけ 佐藤 大輔 (36)		「泳げる」ヒトの脳内表象をもとに実践的な評価法を開発する	新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科
	さとう ゆうすけ 佐藤 佑介 (36)		体操競技あん馬における両足旋回遂行中の眼球と頭部の協応運動	日本大学 商学部
	しばぐち つばさ 芝口 翼 (32)		米由来機能性成分による骨格筋ミトコンドリア生合成・機能の亢進とその標的分子の解明	金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 バンチャー・ビジネス・ラボラトリー
	たなか よしのり 田中 嘉法 (28)		筋繊維内の乳酸を可視化するイメージング技法の確立	電機通信大学大学院 情報理工学研究科
	みやもと なおと 宮本 直人 (39)		高精度 GPS を用いたスキー計測に関する研究	東北大学 未来科学技術共同研究センター
	わかばやし ひとし 若林 斉 (38)		現代の子どもの生活運動習慣が体温概日リズムおよび体力・体格に及ぼす影響の縦断的調査	北海道大学大学院 工学研究院
	みえの ゆうたろう 三重野 雄太郎 (32)		人文社会	ドーピングをめぐる法的・倫理的問題点に関する研究 ―ドイツ・オーストリア・スイスの状況を参考に―

■第11期 スポーツチャレンジ体験助成 対象者（平成29年2月1日現在）

区分	氏名（年齢）	種目	チャレンジテーマ	所属
ジュニア	きひら りか 紀平 梨花（14）	フィギュアスケート／選手	2022年北京オリンピック出場を念頭に、JGPF、全日本ジュニアにて優勝を目指す	関西大学カイザーズフィギュアスケートクラブ
	ふるはた かいき 古畑 海生（17）	水泳／選手	未来へ扉は開いた！さらなる成長を遂げ大好きな水泳を継続、活躍できる第2ステージを獲得する	市川高等学校
	むらかみ 村上 レイ（13）	アイスホッケー／選手	北米ジュニアアイスホッケーリーグで活躍できる選手になるための挑戦	苫小牧市立和光中学校
ベーシック	かみはし けいしん 神箸 溪心（16）	スノーカー（ビリヤード）／選手	スノーカー世界チャンピオンへの挑戦 ～強豪選手がひしめく中国で、技術・メンタルの質を向上させる～	世界スノーカー学院（中国）
	たかい かずひろ 高居 千紘（19）	陸上・走り高跳び（障害者スポーツ）／選手	陸上競技・走り高跳びで日本ろう記録を塗り替え、2021年デフリンピックでメダル獲得を目指す挑戦	日本体育大学
	ほんどう あんみ 本堂 杏実（20）	スキー・アルペン（障害者スポーツ）／選手	2018年平昌冬季パラリンピック アルペンスキー競技入賞から2022年北京大会金メダル獲得への挑戦	日本体育大学
	みしま れん 三島 廉（19）	カヌー・スラローム／選手	カヌー・スラローム K1 で五輪初のメダルを獲得するために、2017年U23世界選手権で表彰台を目指す	日本体育大学
	わかつき あらた 若月 新（16）	スキー・アルペン／選手	アルペンスキー世界ジュニア選手権に出場して活躍する！	北照高等学校
アドバンスド	いしもと みらい 石本 美来（19）	ボウリング／選手	自己スキルをより磨き、自分のボウリングで世界に名を轟かせたい	岡山商科大学
	かじはら ゆうみ 梶原 悠未（19）	自転車競技／選手	2020年東京オリンピック金メダル獲得に向けた戦略 ～自転車競技を日本でメジャースポーツへ～	筑波大学
	くどう かい 工藤 開（23）	空手／選手	東京五輪に空手道が正式種目に決定、日本代表として出場し優勝する	近畿大学大学院
	つじ さえ 辻 沙絵（22）	陸上・中距離（障害者スポーツ）／選手	陸上競技 400mにおいて、東京パラリンピックで金メダル獲得を目指す ～リオでの経験を生かして～	日本体育大学
	みうら ゆうき 三浦 優希（20）	アイスホッケー／選手	日本人史上初の NHL プレイヤーとなり、アイスホッケー日本代表を長野大会以来の五輪出場へ導く選手となる	Waterloo Black Hawks

別紙（２） 平成 28・29 年度（第 10 期）国際スポーツ奨学金対象者

■第 10 期 国際スポーツ奨学金 対象者（平成 28 年 3 月 2 日 現在）

海外留学生			
氏名（年齢）	国名	チャレンジテーマ	所属
なかだ たかひろ 中田 貴央（26）	オランダ	オランダの医学的な視点から、男子サッカー日本代表のワールドカップ優勝に貢献するための土台を築く	FC Den Bosch
せきぐち やすき 関口 泰樹（24）	アメリカ	スポーツコンディショニングの勉強・研究を行うのと同時に、トレーナーとしての実際の経験を大学院で積む	University of Arkansas

※関口泰樹さんは平成 27 年度採択の 2 年目

外国人留学生			
氏名（年齢）	国名	チャレンジテーマ	所属
キム ダユン 金 多允（27）	韓国	下肢キネマティクスとランニング障害の発生の関連性	筑波大学大学院 人間総合科学研究科
フランク ジュリウス（33）	ドイツ	レジスタンストレーニング(RT)によって分泌されるホルモンとアンドロゲン受容体が筋肥大に与える影響	筑波大学大学院 人間総合科学研究科

※フランク ジュリウスさんは平成 27 年度採択の 2 年目

別紙（3）第28回全国児童 水辺の風景画コンテスト入賞者

■最優秀賞（4作品）

文部科学大臣賞	
受賞者	細野 誠人（ほその まこと）さん 兵庫県 加西市立北条東小学校 4年（10歳）
作品名	「 みんなであまごつかみ 」
表彰日・会場	平成28年12月12日（月） 加西市立北条東小学校体育館
贈呈者	加西市 教育長 高橋晴彦様
国土交通大臣賞	
受賞者	二階堂 蒼海（にかいどう あおい）さん 神奈川県横浜市港南区 とつかふたば幼稚園 年少（4歳）
作品名	「 ふねのうえでみたはなび 」
表彰日・会場	平成28年12月13日（火） 国土交通省 関東地方整備局
贈呈者	国土交通省港湾局海洋・環境課 課長 佐々木宏様
環境大臣賞	
受賞者	中島 菜乃遥（なかしま ののは）さん 大阪府 堺市立福泉小学校 4年（10歳）
作品名	「 水辺のホタル 」
表彰日・会場	平成28年12月5日（月） 堺市立福泉小学校校庭
贈呈者	ヤマハ発動機スポーツ振興財団 常務理事 大庭義隆
農林水産大臣賞	
受賞者	笠岡 大志（かさおか たいし）さん 徳島県 吉野川市立西麻植小学校 3年（9歳）
作品名	「 大漁だ！ 」
表彰日・会場	平成28年12月2日（金） 吉野川市立西麻植小学校校長室
贈呈者	コンテスト審査員長 工藤和男画伯

■特別賞（9作品）

氏名	学年（年齢）	作品名	所属
審査員長賞			
杉本 観月	5年(10)	いせえびをつかんだ私	徳島県徳島市鳴門教育大学附属小学校
日本マリン事業協会会長賞			
清水 結子	5年(11)	野生のペリカン、海辺でひなたぼっこ	横浜市神奈川区聖心女子学院初等科
日本ユネスコ協会連盟賞			
鈴木 香帆	4年(9)	小さいカニみつけた	神奈川県海老名市立上星小学校
日本マリーナ・ビーチ協会会長賞			
藤澤 侑生	年長(5)	おじいちゃんの船	和歌山県和歌山市おのみなと幼稚園
ジャパンゲームフィッシュ協会会長賞			
笹澤 亮	1年(7)	川の中では	東京都大田区聖ヨゼフ学園小学校
国立青少年教育振興機構理事長賞			
杉山 優奈	4年(9)	地引網	兵庫県加古郡播磨町立播磨小学校
ヤマハ発動機賞			
上甲 夕璃亜	2年(8)	ボートをこいだよ	愛媛県西予市立野村小学校

YMFS特別賞（水辺の生き物：国広富之画伯選）			
徳野 慶吉郎	4年(10)	たこ見つけた	埼玉県蕨市立南小学校
YMFS特別賞（水辺の風景：創元会 小川尊一画伯、服部譲二画伯、杉山悦照画伯選）			
清水 玲那	3年(9)	夕やけの下で	神戸市西区神戸市立井吹の丘小学校

■優秀賞（27点）

部門	氏名	学年(年齢)	作品名	所属
金賞	小金澤 愛和	年長(6)	貝ひろい	神奈川県海老名市旭たちばな幼稚園
	染谷 蓮	年長(5)	うみでおよいだ	神奈川県海老名市ムック保育園
	藤井 杏果	年長(6)	おさかなとつたよ。	兵庫県明石市明石市立大久保幼稚園
	赤坂 知紗	1年(6)	イワナをつかんだよ	宮城県遠田郡美里町立不動堂小学校
	桜井 佑規	1年(6)	エイと一緒に泳ぐ人	徳島県鳴門市立林崎小学校
	長澤 礼弥	2年(8)	魚がたくさん	神戸市中央区高羽六甲アイランド小学校
	堀 晃樹	6年(12)	ぎふ長良川鵜飼	岐阜県岐阜市立鵜飼小学校
	山本 直尊	6年(12)	地引網	高知県高知市立第四小学校
	吉田 泰規	5年(11)	吉野川の清流でラフティング	徳島県板野郡藍住町立藍住東小学校
銀賞	赤木 洸太	年長(5)	イルカに乗ってみたいなあ～	宮崎県延岡市ゆりかごWEC学院
	小畑 葵輔	年長(5)	みなとへゴー！！	広島県福山市誠信幼稚園
	清野陽奈心	年長(5)	うみでかいがらひろいとうみのなかまたち	山形県山形市出羽大谷幼稚園
	遠藤 愛	2年(8)	海の仲間たち	東京都練馬区立中村西小学校
	北村 菜々伽	3年(9)	南国で見た海	東京都板橋区西武学園文理小学校
	鈴木 文華	2年(7)	大きなニジマスつかまえた	静岡市葵区静岡大学教育学部附属静岡小学校
	伊沢 直留	6年(12)	あゆのつかみどり	徳島県徳島市鳴門教育大学附属小学校
	板原美乃里	4年(9)	土佐の宇佐漁協	高知県土佐市立高岡第一小学校
	小松 美結	6年(11)	新巻鮭づくり	岩手県宮古市立重茂小学校
銅賞	上岡 輔采	年長(5)	強いよ、ザリガニ	高知県高知市認定こども園わらべ館
	野田 悠陽	年長(6)	かわでさかなとつたよ	広島県福山市誠信幼稚園
	松崎 姫乃	年少以下(3)	海で遊んだ	沖縄県宜野湾市はるゆめ保育園
	小谷 優維	1年(6)	たのしいうみ	徳島県板野郡上板町立神宅小学校
	瀧山 凜音	3年(8)	川遊び	高知県高知市立秦小学校
	平岡 麻依	2年(7)	ザリガニがいたよ	神奈川県海老名市立今泉小学校
	岩崎 斗壱	6年(-)	大漁！！	神奈川県平塚市立豊田小学校
	宇佐美 航	6年(12)	ハゼと川の風景画	千葉県船橋市立法典小学校
	大清水彩夏	4年(9)	大漁だ！	神奈川県海老名市立杉本小学校

別紙（４）平成２８年度 スポーツ教材の提供先団体

	都道府県	団 体	提供教材
1	北海道	(学)和順学園認定こども園	サッカー３号球
2	北海道	(株)食品急送事業所内保育施設	サッカー３号球
3	北海道	旭川東光幼稚園	サッカー３号球
4	北海道	札幌市立光陽中学校	サッカー４号球
5	北海道	札幌市立幌東小学校	ラグビーセット
6	北海道	札幌市立北郷小学校	ラグビーセット
7	北海道	札幌市立手稲山口小学校	ラグビーセット
8	北海道	札幌市立山鼻小学校	ラグビーセット
9	北海道	旭川市立大有小学校	ラグビーセット
10	北海道	札幌市立東栄中学校	ラグビーセット
11	北海道	札幌市立稲穂中学校	ラグビーセット
12	青森県	INTI WARA SSF	サッカー４号球
13	岩手県	滝沢市立滝沢東小学校	サッカー３号球
14	岩手県	花巻市立宮野目小学校	ラグビーセット
15	岩手県	岩手県立久慈拓陽支援学校	ラグビーセット
16	岩手県	陸前高田市立矢作小学校	ラグビーセット
17	宮城県	岩沼市立玉浦小学校	ラグビーセット
18	宮城県	宮城県立名取支援学校	ラグビーセット
19	宮城県	気仙沼市立唐桑小学校	ラグビーセット
20	宮城県	気仙沼市立大島中学校	ラグビーセット
21	山形県	白鷹町ひがしね保育園	サッカー３号球
22	山形県	NPO 法人	ラグビーセット
23	新潟県	(学)聖尚学園認定こども園	サッカー３号球
24	福島県	(学)吉野学園 わかば幼稚園	サッカー３号球
25	福島県	(宗)二本松カトリック幼稚園	サッカー３号球
26	福島県	福島県立須賀川養護学校	サッカー４号球
27	福島県	双葉町立南北小学校	サッカー４号球
28	福島県	郡山ザベリオ学園中学校	サッカー４号球
29	福島県	会津若松市立湊中学校	サッカー４号球
30	福島県	葛尾村立葛尾小学校	ラグビーセット
31	福島県	新地町立尚英中学校	ラグビーセット
32	福島県	棚倉町立棚倉小学校	ラグビーセット
33	群馬県	大和根幼稚園	サッカー３号球
34	群馬県	(学)若葉幼稚園	ラグビーセット
35	茨城県	水戸市立河和田保育所	サッカー３号球
36	茨城県	鉾田市立旭中学校	サッカー４号球
37	茨城県	古河市立三和東中学校	サッカー４号球
38	茨城県	茨城県立勝田特別支援学校	サッカー４号球

	都道府県	団 体	提供教材
39	茨城県	茨城県立常陸太田特別支援学校	タグラグビーセット
40	茨城県	鉾田市立新宮小学校	タグラグビーセット
41	埼玉県	(学)富士学園 所沢富士幼稚園	サッカー3号球
42	埼玉県	三郷市立後谷小学校	サッカー4号球
43	埼玉県	熊谷市立秦小学校	タグラグビーセット
44	埼玉県	熊谷市立籠原小学校	タグラグビーセット
45	埼玉県	八潮市立中川小学校	タグラグビーセット
46	埼玉県	熊谷市立大幡中学校	タグラグビーセット
47	埼玉県	坂戸市立城山小学校	タグラグビーセット
48	東京都	世田谷区立太子堂小学校	タグラグビーセット
49	東京都	世田谷区立北沢小学校	タグラグビーセット
50	千葉県	東庄町立神代小学校	サッカー4号球
51	千葉県	大多喜町立みつば保育園	サッカー4号球
52	千葉県	成田市立桜田小学校	タグラグビーセット
53	千葉県	鴨川市立天津小学校	タグラグビーセット
54	千葉県	市川市立鶴指小学校	タグラグビーセット
55	神奈川県	わかふじ幼稚園	サッカー3号球
56	神奈川県	大和市立南林間中学校	サッカー4号球
57	神奈川県	大和市立大野原小学校	サッカー4号球
58	神奈川県	やんちゃるジム	タグラグビーセット
59	神奈川県	横須賀市立高坂小学校	タグラグビーセット
60	神奈川県	相模原市立もえぎ台小学校	タグラグビーセット
61	神奈川県	大和市立引地台小学校	タグラグビーセット
62	山梨県	南アルプス市立白根東小学校	サッカー4号球
63	長野県	上田市立東塩田小学校	サッカー4号球
64	長野県	上田市立菅平小学校	タグラグビーセット
65	長野県	大町市立大町北小学校	タグラグビーセット
66	静岡県	てるみ幼稚園	サッカー3号球
67	静岡県	湖西市立岡崎幼稚園	サッカー3号球
68	静岡県	浜松日体中学校	タグラグビーセット
69	静岡県	富士市立岩松北小学校	タグラグビーセット
70	静岡県	沼津市立内浦小学校	タグラグビーセット
71	愛知県	Club Atletico GIRASOL	サッカー3号球
72	愛知県	田原市立清田小学校	タグラグビーセット
73	愛知県	知立市立八ツ田小学校	タグラグビーセット
74	愛知県	田原市立若戸小学校	タグラグビーセット
75	愛知県	田原市立田原中部小学校	タグラグビーセット
76	愛知県	蒲郡市立西浦中学校	タグラグビーセット
77	岐阜県	(福)千寿会 千寿の里愛保育園	サッカー3号球
78	岐阜県	川辺町第二保育所	サッカー3号球

	都道府県	団 体	提供教材
79	岐阜県	大垣市立北中学校	サッカー4号球
80	岐阜県	岐阜市立岐北中学校	サッカー4号球
81	岐阜県	郡上市立郡南中学校	サッカー4号球
82	岐阜県	本巣市立席田小学校	タグラグビーセット
83	岐阜県	瑞穂市立穂積小学校	タグラグビーセット
84	岐阜県	輪之内町立大藪小学校	タグラグビーセット
85	岐阜県	恵那市立上矢作小学校	タグラグビーセット
86	石川県	金沢市立十一屋小学校	タグラグビーセット
87	福井県	(学)摂取学園 丈生神山幼稚園	サッカー3号球
88	三重県	いなべ市立治田小学校	サッカー4号球
89	三重県	三重県立稲葉特別支援学校中学部	サッカー4号球
90	滋賀県	栗東市立治田西小学校	サッカー4号球
91	滋賀県	彦根市立佐和山小学校	サッカー4号球
92	滋賀県	山田タグラグビークラブ	タグラグビーセット
93	大阪府	守口市立下島小学校	サッカー4号球
94	大阪府	大阪府立すながわ高等支援学校	サッカー4号球
95	大阪府	大阪府立茨木支援学校	サッカー4号球
96	大阪府	茨木市立郡山小学校	タグラグビーセット
97	大阪府	枚方市立枚方小学校	タグラグビーセット
98	大阪府	大阪府立東淀川支援学校	タグラグビーセット
99	奈良県	奈良保育学院附属幼稚園	サッカー3号球
100	奈良県	桜井市立纏向小学校	サッカー4号球
101	奈良県	智辯学園 奈良カレッジ小学部	サッカー4号球
102	奈良県	奈良県立大淀養護学校	サッカー4号球
103	奈良県	SEIBI GACHA	タグラグビーセット
104	奈良県	大和高田市立磐園小学校	タグラグビーセット
105	奈良県	橿原市立香久山小学校	タグラグビーセット
106	奈良県	奈良教育大学附属中学校	タグラグビーセット
107	兵庫県	姫路市立四郷小学校	サッカー4号球
108	兵庫県	宝塚市立中山五月台小学校	サッカー4号球
109	兵庫県	川西市立牧の台小学校	サッカー4号球
110	兵庫県	姫路市立城東小学校	タグラグビーセット
111	兵庫県	三田市立三田小学校	タグラグビーセット
112	兵庫県	川西市立東谷小学校	タグラグビーセット
113	岡山県	矢掛町立川面小学校	タグラグビーセット
114	山口県	あけぼの学習会	サッカー4号球
115	徳島県	徳島県立板野支援学校	サッカー4号球
116	愛媛県	西予市立大野ヶ原小学校	サッカー4号球
117	愛媛県	新居浜市立金栄小学校	タグラグビーセット
118	愛媛県	松山市立和気小学校	タグラグビーセット

	都道府県	団 体	提供教材
119	愛媛県	愛媛県ラグビーフットボール協会	タグラグビーセット
120	愛媛県	西条市立壬生川小学校	タグラグビーセット
121	高知県	四万十町立影野小学校	サッカー3号球
122	高知県	南国市立後免野田小学校	サッカー4号球
123	高知県	高知市立城西中学校	タグラグビーセット
124	福岡県	田川市立弓削田小学校	タグラグビーセット
125	福岡県	赤村立赤小学校	タグラグビーセット
126	福岡県	柳川市立矢留小学校	タグラグビーセット
127	宮崎県	(一社)串間スポーツクラブ	サッカー4号球
128	宮崎県	椎葉村立大河内小学校	タグラグビーセット
129	宮崎県	国富町立本庄小学校	タグラグビーセット
130	佐賀県	認定こども園 さくらんぼ	サッカー3号球
131	佐賀県	佐賀市立南川副小学校	サッカー4号球
132	佐賀県	佐賀大学教育学部附属小学校	タグラグビーセット
133	長崎県	(学)長崎南山第二学園	サッカー3号球
134	長崎県	つぼみ保育園	サッカー3号球
135	長崎県	レデンプトール学園	サッカー3号球
136	長崎県	(学)ひかり学園幼保連携型	サッカー4号球
137	長崎県	(福)正道会幼保連携型	タグラグビーセット
138	長崎県	(学)百合の園学院	タグラグビーセット
139	長崎県	ルンビニーこども園	タグラグビーセット
140	長崎県	(福)共栄福祉会 桜が丘保育園	タグラグビーセット
141	長崎県	長崎日本大学中学校	タグラグビーセット
142	熊本県	わいわいクリスポやまえ	サッカー4号球
143	熊本県	苓北町立志岐小学校	タグラグビーセット
144	熊本県	熊本市立若葉小学校	タグラグビーセット
145	熊本県	にしばる倶楽部発足準備委員会	タグラグビーセット
146	沖縄県	那覇市立神原中学校	タグラグビーセット

別紙（５） 第２５回ＹＭＦＳセーリング・チャレンジ・カップ ＩＮ 浜名湖 参加団体と上位入賞者

■参加クラブ：３６団体 参加隻数：１２８隻 参加人数：１６２名

NO	クラブ名	隻数	人数
1	愛媛セーリングクラブ	1	1
2	江ノ島ヨットクラブジュニア	2	2
3	ユースチーム東京	3	3
4	レーザー津フリート	1	1
5	湘南ジュニアヨットクラブ	1	1
6	広島セーリングスクール（広島県セーリング連盟）	3	3
7	神奈川県ユースヨットクラブ	5	5
8	YMFS ジュニアヨットスクール葉山	10	10
9	レーザー江ノ島フリート	1	1
10	射水市立射北中学校ヨット部	12	12
11	碧南セーリングクラブ	11	20
12	江東区小中学校セーリング部	3	3
13	清水ヨット・スポーツ少年団	4	4
14	慶應義塾高等学校 ヨット部	1	2
15	山中湖中学校ヨット部	13	13
16	三重県ヨット連盟ジュニアユースヨットクラブ	5	5
17	B&G 別府海洋クラブ	2	2
18	海陽海洋クラブ	7	7
19	関東学院中学・高等学校ヨット部	3	5
20	B&G 高松海洋クラブ	5	5
21	清風高等学校	1	1
22	静岡県立相良高等学校ヨット部	4	8
23	静岡県セーリング連盟	3	3
24	CYBC ジュニア	1	1
25	B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ	3	3
26	和歌山ユースセーリングクラブ	1	1
27	愛知県立蒲郡東高等学校ヨット部	3	6
28	B&G 松山海洋クラブ	2	2
29	山口県立光高等学校	1	1
30	千葉市立稲毛高等学校附属中学校	1	1
31	福井県立三国高等学校	4	6
32	滋賀県セーリング連盟 琵琶湖ジュニアヨットクラブ	1	1
33	静岡県立熱海高等学校ヨット部	5	10
34	なごやジュニアヨットクラブ	2	2
35	横浜ジュニアヨットクラブ	1	1
36	福島県立いわき海星高等学校ヨット部	2	4
	合計	128	162

■上位入賞者（開催各クラス）

O P 初級（参加 1 4 艇）		
	氏 名	所 属
総合 1 位	内田 幸恋（うちだ ここ）	清水ヨット・スポーツ少年団
総合 2 位	栗原 こまき（くりはら こまき）	射水市立射北中学校ヨット部
総合 3 位	山谷 聖周（やまや まさなり）	山中湖中学校ヨット部
女子 1 位	内田 幸恋（うちだ ここ）	清水ヨット・スポーツ少年団

O P 上級（参加 2 6 艇）		
	氏 名	所 属
総合 1 位	杉浦 ふう華（すぎうら ふうか）	海陽海洋クラブ
総合 2 位	須永 笑顔（すなが えがお）	Y M F S ジュニアヨットスクール葉山
総合 3 位	市川 太陽（いちかわ たいよう）	静岡県セーリング連盟浜名湖ジュニアクラブ
女子 1 位	杉浦 ふう華（すぎうら ふうか）	海陽海洋クラブ

ミニホッパー級（参加 1 7 艇）		
	氏 名	所 属
総合 1 位	高村 龍英（たかむら りゅうえい）	山中湖中学校ヨット部
総合 2 位	伊豫田颯吉（いよだ そうきち）	Y M F S ジュニアヨットスクール葉山
総合 3 位	林 泰志（はやし たいし）	射水市立射北中学校ヨット部
女子 1 位	牧田 瑚夏（まきた こなつ）	射水市立射北中学校ヨット部

レーザーラジアル級（参加 1 6 艇）		
	氏 名	所 属
総合 1 位	西尾 拓大（にしお たくひろ）	和歌山ユースセーリングクラブ
総合 2 位	大久保 諒（おおくぼ りょう）	神奈川県ユースヨットクラブ
総合 3 位	水田 隆文（みずた りゅうもん）	清風高等学校
女子 1 位	菅沼 汐音（すがぬま しおね）	レーザー江ノ島フリート

レーザー 4. 7 級（参加 2 7 艇）		
	氏 名	所 属
総合 1 位	桐井 航汰（きりい こうた）	江ノ島ヨットクラブジュニア
総合 2 位	三浦 凧砂（みうら なぎさ）	静岡県セーリング連盟
総合 3 位	前田 海陽（まえだ かいよう）	広島セーリングスクール
女子 1 位	三浦 凧砂（みうら なぎさ）	静岡県セーリング連盟

F J級 (参加11艇)		
	氏名	所属
総合1位	鈴木三史朗 (すずき さんしろう)	碧南セーリングクラブ
	石川 魁人 (いしかわ かいと)	碧南セーリングクラブ

420級 (参加17艇)		
	氏名	所属
総合1位	杉浦 涼斗 (すぎうら りょうと)	碧南セーリングクラブ
	山田 大夢 (やまだ ひろむ)	
総合2位	小山内希流 (おさない きあら)	静岡県立熱海高等学校ヨット部
	加藤 誠也 (かとう せいや)	
総合3位	杉浦 春香 (すぎうら はるか)	碧南セーリングクラブ
	稲吉 風生 (いなよし ふうう)	
女子1位	杉浦 春香 (すぎうら はるか)	碧南セーリングクラブ
	稲吉 風生 (いなよし ふうう)	

荒田忠典メモリアルトロフィー		
	氏名	所属
	桐井 航汰 (きりい こうた)	江の島ヨットクラブジュニア

別紙（6）メディア掲載情報

■新聞

日付	媒体	記事内容
2016.9.10	スポーツ産業新報	チャレンジ助成を募集 世界に通じる人材を育成
2017.2.20	スポーツ産業新報	YMFS 平成 29 年度の助成決定 2 部門計 28 件・2500 万円超
2016.3.26	中日新聞	セーリング大会浜名湖で始まる
2016.3.26	静岡新聞	セーリング熱戦 浜名湖で開催
2016.4.26.	函館新聞	スポーツ機会充実 ヤマハが教材提供
2016.5.1	スポーツ産業新報	サッカーボールなど 120 団体に 希望団体を募集 (6 月 9 日まで)
2016.5.6	内外教育	スポーツ教材を 120 団体に提供
2016.5.18.	静岡新聞	児童がタグラグビー体験 袋井 W 杯に向け機運醸成
2016.5.18.	中日新聞	タグラグビーに挑戦 袋井北小児童が実技学ぶ
2016.5.3.	函館新聞	サッカーボールやタグラグビー ヤマハがスポーツ教材提供
2016.5.13.	函館新聞	スポーツ教材提供団体募集 ヤマハ発動機
2016.7.1	スポーツ産業新報	ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツ用品 1 3 5 団体に提供 震災被災地に
2016.7.1	スポーツ産業新報	子どもの機会増加に
2016.10.27	中日新聞	タグラグビー基本学ぶ ヤマハ発動機選手指導 袋井南小で教室
2016.11.15	中日新聞	タグラグビーに挑戦 袋井・三川小 ヤマハ発元選手 教室
2016.5.11.	朝日新聞 奈良版	一夏の漁業体験 銀の輝き
2016.6.13.	日本教育新聞	実際の体験を描き感性をはぐもう「全国児童水辺の風景画コンテスト」
2016.6.8.	中日新聞 静岡版	小学生以下対象に水辺の風景画 募集 ヤマハ発の財団
2016.6.14.	柏崎日報	水辺の風景画コンテスト作品募集
2016.6.17.	函館新聞	素直な視点で描いた作品募集 来月 1 日から「全国児童 水辺の風景画コン」
2016.6.21.	函館新聞	川や水辺の風景を児童の素直な視点で 来月から風景画コン
2016.11.6.	沖縄タイムス	全国水辺風景画 姫乃ちゃん銅賞 入賞者で最年少 3 歳
2016.12.19.	港湾空港タイムス	全国児童水辺の風景画コンテスト 国土大臣賞に横浜の二階堂蒼海くん (4 歳)
2016.12.20.	港湾新聞	全国児童水辺の風景画コンテスト 国土交通大臣賞表彰状授与式 12/13
2016.12.16.	徳島新聞	児童水辺の風景画コンテスト 杉本さん (鳴教大附属小 5 年) は特別賞
2016.12.31.	愛媛新聞	明浜の水辺描き特別賞
2016.4.5.	熊本日日新聞	ヤマハのチャレンジ賞 奨励賞に中島氏
2016.4.5.	静岡新聞	ラグビー分析担当 中島氏に奨励賞 ヤマハ発動機財団
2016.4.5.	長崎新聞	スポーツ短信 中島、藤原両氏が受賞
2016.4.5.	徳島新聞 夕刊	中島・藤原両氏にチャレンジ賞 ヤマハ振興財団
2016.4.18.	日刊自動車新聞	今週の主な会見・発表予定 22 日 (金) ヤマハ発、スポーツチャレンジ賞表彰式
2016.4.20.	スポーツ産業新報	第 8 回スポーツチャレンジ賞藤原・中島 2 氏に決定
2016.4.23.	スポーツニッポン	スポーツチャレンジ賞奨励賞 中島正太氏感激 やりがいは勝利
2016.4.23.	東京中日スポーツ	日本代表分析担当 中島さん表彰
2016.4.29.	毎日新聞 埼玉版	昨秋のラグビー W 杯日本代表のアナリスト 中島さんに奨励賞
2016.5.30.	中部経済新聞	藤原、中島さん表彰 ヤマハ振興財団 スポーツチャレンジ賞で
2016.9.16	日刊自動車新聞	スポーツチャレンジ賞の推薦募集を開始 ヤマハ発

日付	媒体	記事内容
2016.4.13.	サンケイスポーツ	19年開催のラグビーW杯、認知度は5割・・・五郎丸の認知度は8割超
2016.4.14.	サンケイスポーツ	19年W杯、認知度は5割
2016.4.14.	中日新聞	19年に日本でラグビーW杯 認知度5割 ヤマハ発財団がネット調査
2016.4.14.	静岡新聞	ラグビー19年W杯「知っている」5割 ヤマハ発財団ネット調査
2016.4.14.	秋田魁新報	19年ラグビーW杯、認知度は5割
2016.4.14.	神奈川新聞	19年のW杯 認知度5割 ラグビー
2016.4.14.	北日本新聞	19年W杯、認知度5割
2016.4.14.	産経新聞	2019年W杯、認知度は5割
2016.4.14.	南日本新聞	19年ラグビーW杯 認知度5割 民間調査
2016.4.14.	熊本日日新聞	19年ラグビーW杯、日本開催の認知度は5割
2016.4.20.	中国新聞 SELECT	日本開催W杯 認知度は5割 ラグビー
2016.4.26.	朝日新聞	パラアスリート 大学が育てる
2016.5.17.	朝日新聞	好きな競技 挑みたくても
2016.9.24	日刊自動車新聞	障がい者スポーツ 11月に公開シンポ ヤマハ発動機スポーツ振興財団
2016.11.15.	デイリースポーツ	指導者増やして
2017.3.19	読売新聞社	第25回YMFSセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖大会開催
2017.3.31	静岡新聞社	第25回YMFSセーリング・チャレンジカップ IN 浜名湖大会開催

#### ■雑誌

日付	媒体	記事内容
2016.7.27	コーチングクリニック	ボールの転がるままに リオで輝け！日本代表選手たち
2016.8.27	コーチングクリニック	ボールの転がるままに リオ・パラリンピックをテレビで応援しよう
2016.9.20	内外教育第	YMFS スポーツチャレンジ助成
2016.12.27	スポーツ用品ジャーナル	ヤマハ発動機スポーツ振興財団 平成29年度の助成対象者を募集
2016.5.9	KAZI 6月号	成長するための4日間 うまくなれるレガッタ
2016.7.8	KAZI 8月号	在日外国大使館員による白熱する国別対抗ヨットレース
2016.5.6.	内外教育	スポーツ教材を120団体に提供
2016.5.20.	School Amenity	～サッカーボール・タグラグビーセットを抽選で合計120団体に提供～
2016.5.	スポーツ用品ジャーナル	ヤマハ発動機スポーツ振興財団 今年も120団体にスポーツ教材を提供
2016.7.9.	公募ガイド8月号	海や水辺に出かけて思い出に残る発見や体験をしよう！「水辺の風景画コンテスト」
2016.12	公募ガイド1月号	入選作品 PICK UP！ 1月誌上発表
2017.2.	マリーナ&ビーチ	第28回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」入賞作品決定のご案内
2016	ラグビーマガジン	昨秋のW杯で日本代表アナリストを務めた中島正太さんが奨励賞を受賞した。
2016.6.27.	コーチングクリニック	ボールの転がるままに YMFS スポーツチャレンジ賞
2016.11.	フォトコン	フォトコンG作家プロフィール 水谷章人
2016.4.	ラグビーマガジン	ヤマハ発動機スポーツ振興財団がラグビーの認知度などの調査結果を発表。
2016.11.27.	コーチングクリニック	障害者スポーツ選手発掘・育成システムのモデル構築に向けて

#### ■テレビ

日付	局名	放送内容
2016.4.27.	NHK おはよう日本	インターネット調査 2019年ラグビーW杯の日本開催「知っている」50.4%
2016.11.	日本テレビ「深い話」	11月5日開催のシンポジウムの話目を放映（一ノ瀬メイ）